

第 194 回
定例探鳥会

日時：2003 年 2 月 9 日 (日) 天候：晴れ
コース：高来神社 八俣山 湘南平

今朝は晴天で昨夜降った雨も上がり暖かくさわやかな朝になりました。集合時間前の恒例の鳥見はイカル、シメの群れや地上にアオジの、アオゲラなどが出てくれました。山を外から見る事も大事ですね。

山に入るとエナガ3羽を観察し、そろそろ繁殖準備に入っているのかなと思われるような尾羽根の少し曲がった個体も見られました。歩いているうちに気温がぐんぐん上がり、16度～17 くらいになり汗ばむくらいになり、チョット季節はずれな感じです。

八俣山をすぎ地獄沢入り口付近で久しぶりにアオゲラ を見つけじっくり観察。参加者全員が見ることができました ... よかった、よかった。

今回も湘南平ではピンズイを見ることができませんでした。松が無くなって以来見る事が無い。いつもこのピンズイのことを考えると、鳥は微妙な環境で生きていることを思い知らされます。

今日の楽しみはヒレンジャクでした。数日前から大磯の虫窟でヒレンジャクが観察されていることから、もしやと思い捜していましたが、残念ながらレンジャクは観察できませんでした。

餌がなくなったのか3月に入って虫窟の大きな群れは移動したようです。2/25 には平塚の市街地でヒレンジャク約 50 羽の群を観察した情報も入り、今月(3月)の探鳥会ではレンジャクコースで山に登りますので期待しましょう。

参加者

参加人数 26 名 (敬称略)

- | | | | | |
|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 福田 適 | 2. 佐藤 忠史 | 3. 下倉 紘一 | 4. 吉田 敬一 | 5. 八木 正 |
| 6. 上野 尚博 | 7. 南 那津子 | 8. 山田 文則 | 9. 吉尾 孝 | 10. 日下部陽三 |
| 11. 松本 鈴子 | 12. 鈴木 逸子 | 13. 紺 龍彦 | 14. 近藤 静子 | 15. 根岸 春雄 |
| 16. 森田 義雄 | 17. 松下 弓子 | 18. 小野 肇 | 19. 木田 ハマ | 20. 石橋 宏明 |
| 21. (田端 裕) | 22. (西ヶ谷修一) | 23. (岩佐 昌夫) | 24. (内山規矩雄) | 25. (金子 典芳) |
| 26. (斎藤常實) | | | | |

見聞きした鳥

種類数 25 種 (ドバトを含む)

- | | | | | |
|------------|----------|----------|-------------|-------------|
| 1. トビ | 2. コジュケイ | 3. キジバト | 4. (ドバト) | 5. ヒメアマツバメ |
| 6. アオゲラ | 7. コゲラ | 8. ヒヨドリ | 9. モズ | 10. ジョウビタキ |
| 11. シロハラ | 12. ツグミ | 13. ウグイス | 14. エナガ | 15. ヤマガラ |
| 16. シジュウカラ | 17. メジロ | 18. アオジ | 19. カワラヒワ | 20. イカル |
| 21. シメ | 22. スズメ | 23. カケス | 24. ハシボソガラス | 25. ハシブトガラス |

★ 金目川水系流域フォーラム 2003

2月1日(土) 13時から15時30分まで、平塚中央公民館で「金目川水系流域フォーラム 2003」が行われました。- 金目川水系流域の自然と暮らしを考える - という副題がついており、金目川水系流域ネットに所属している4つのグループ・団体が意見を発表しました。こまたんも参加し、金子さんが代表として、平塚市の鳥に選定されたシラサギをテーマに発表しました。その発表の概要を紹介します。

第1部 『平塚市の鳥 サギたちと水辺』発表概要

2002年にシラサギが平塚市の鳥に、市民一般公募を経て選ばれました。サギ科の中で白い種類であるダイサギ、チュウサギ、コサギ、アマサギのことをシラサギと呼びます。

金目川水系流域ではこのシラサギ4種をはじめ、日本最大のサギであるアオサギ、ずんぐりした体型で夜行性のゴイサギなど、日本で繁殖記録のあるサギ科16種のうち、10種も観察されています。川の中洲などにあるサギのねぐらでは、夜明け前のまだ暗いうちに、たくさんのシラサギたちが次々に餌場へと飛び立っていく「ねぐら立ち」を見ることができます。迫力さえ感じるそのシーンは、是非ご覧になってください。

自然を考えると、私たちは本当にそれらのことをわかっているのでしょうか？身近な自然も、私たち人間にはまだまだ理解できていない不思議で危ういバランスによって保たれています。それを理解しようとする努力、そこに生きる様々な生物の気持ちをどれだけ考えていけるかが大切です。

第一歩として、自然が自分の周りであつたらいいなと思うこと。こうした気持ちを広げていくのに「市の鳥」の制定は良いきっかけでしょう。普段の散歩や自然観察会、あるいは小学校の課外授業などで自然の面白さに気づいてもらいたいと思います。こうしたことに気づいてくれる人が少しでも増えることが、自然を残す原動力となります。いつまでも楽しいバードウォッチングを続けられることを期待して、私たちこまたんはそのお手伝いをしていきます。

第2部 質疑応答

- Q. 花水川の観察データの紹介の中で、この10年間でアオサギが増え、ゴイサギが減ったとのことですが、考えられる原因は何ですか？
- A. アオサギは確かに近年増加傾向ですが、それほど急激なものではないと思います。ゴイサギはグラフにしてその減りように私自身ショックを受けました。10年で半分以下になっていたのです。ゴイサギは夜行性で明け方にねぐらに戻り、日中はそこで休んでいることの多い鳥です。土手や中洲などにあるそのねぐらと人との距離が近くなってしまい、彼らの休める場所を奪ってしまったことが考えられます。これ以上のことはやはり直接聞けないだけにわかっていません。

3月15日には「高麗大橋」が開通します。この橋の工事にもなう草刈などのためか、土手を歩いて観察される鳥に微妙な変化が現れているように感じます。橋の完成により交通の流れが変わり、さらに川幅の拡張と堤防の工事も計画されているようです。これによって鳥・植物などの自然や花水川の様子がどのように変化していくのか、注意深く観察を続けていきたいと思っています。

★ 西ケ谷さん入賞！ ～ 平塚博物館公募写真 ～

平塚市博物館の「第6回 公募写真展」に西ケ谷さんの写真2点が入賞しました。

“相模川流域の自然と文化”をテーマにした公募写真から優秀10点、入選20点の入選作品が審査され、西ケ谷さんが撮影した「アマサギとレンゲ」がシラサギ部門(応募数50点)の優秀賞(1点)、「アオバト」が一般部門(応募数257点)の入選(19点)に選ばれました。おめでとうございます！！

- ・ 周囲一面に咲いている赤紫色のレンゲの中でオレンジ色の首を伸ばしたアマサギ ... アマサギとレンゲ(優秀賞)
- ・ 照ヶ崎の岩場に降りて休憩している1羽の アオバト ... アオバト(入選)

3月1日(土)～4月20日(日)の間、平塚市博物館の特別展示室で、春季特別展として入賞作品が展示されています。他にも鳥が被写体となっている写真が何点か展示されているようです。西ケ谷さんの力作を是非ご覧になってください。月曜日は休館日です。

なお、入選作品は平塚市博物館のホームページでも見ることができます。次のアドレスにアクセスしてください。
<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/index.htm>

◆ なるほど・ザ・野鳥 (No.7) ◆

野鳥たちの不思議な行動や生態のおもしろい話をインターネットなどから集めています。それらの中から一つか二つずつを紙面に余裕があるときにこのコーナーで紹介していきます。

⑨ 鳥は汗をかきません！ — 鳥の気のは

気のは鳥類のみが持っている、肺につながった空気の入る袋です。気のは鳥の体に5対またはそれ以上あり、内臓の間、筋肉の間、はては骨の中にまで存在しています。この気のはの働きは、まず肺の呼吸を助けます。というのも、飛ぶということは大変なエネルギーを必要とします。そのためにはたくさんの酸素を消費しますが、肺だけでは消費量をまかなうだけの空気を貯めることができません。そこで気のはに一時的に空気を貯めて、肺に少しずつ送って呼吸することを助けます。また気のはがあるおかげで呼吸を効果的に行うばかりでなく、体温の調節にも役立っています。鳥は汗をかきません。その代わりに、気のはの内側で熱を発散し、気のはの中の空気を入れ換えることによって、熱を体の外に出します。暑いときに鳥は犬のように口を開けて早い呼吸をし、熱の放出に努めます。鳥の体重が体の大きさの割りに軽いことも、気のはを持っているからだといえます。

【お知らせ】

コアジサシの台地づくり

毎年、酒匂川で行われているコアジサシの台地づくりが今年も開催されます。

コアジサシは春の終わり頃に日本に渡ってきて、川原などに営巣して繁殖します。

こまたんとも親交の深い小田原の頼さんたちのグループが小田原市に働きかけて、コアジサシが市の鳥に制定されました。そのコアジサシの繁殖を助けようということで、市と頼さんグループが一緒になって酒匂川の川原に営巣のための台地づくりを続けてきています。こまたんも毎年協力して、作業に気持ちのいい汗を流しています。今年の予定は次のとおりです。御協力をお願いします。

日時：3月23日(日) 9時30分～11時30分

場所：飯泉取水堰右岸

300名ほどの市民と一緒に砂利を運び、ゴミを拾います。バケツやザルをお持ちの方は御持参ください。

鳥 報

真冬のアオバト情報

この冬はアオバトの情報は非常に多く届いていますが、レンジャクを探して大磯町・虫窟を歩いた人からも目撃したとの連絡が来ました。地上にアラカシのドングリがたくさん落ちており、アオバトがいる可能性が高そうなので調査してみました。

2/7:12羽、上空を飛ぶ 2/10:12羽、上空を飛ぶ 2/11:3羽、林のアラカシの木から飛び出す
2/23には5:50から15:30まで、3名で定点観察を行いました。の若鳥1羽が木にとまったり、最大12羽が上空を飛んだり、9羽がカシの木にとまったりと、多くの記録が集まりました。地上でアラカシを採餌するところは見られませんでした、冬のアオバトの生活の一部が分かりました。

レンジャク情報

今年はレンジャクの到来が早いようです。レンジャクの飛来地として有名な大磯・虫窟での記録です。
2/4:3羽 2/5:1羽 2/6:2羽 2/7:1羽 2/9:17羽 2/10:11羽 いずれもヒレンジャクでヤドリギの実を食べに集まっていました。3/2にも5羽が来ましたが、すぐに飛び去りました。
他の場所での記録は余りありませんが、3/1のカウントでは吉沢で4羽のヒレンジャクが見られました。

こまたんメンバーのフィールドノートから

ウグイスの初鳴き ... 2/15 銀河大橋上流(相模川)、2/26 鎌倉・散在ヶ池
タヒバリとピンズイ ... 2/13 吉沢・松岩寺上の牛糞置き場。両方を同時に見た。違いがよくわかった。
ハイタカ ... 2/13 吉沢。急降下してノスリに突っかかっていた。2/25にも上空を飛ぶ姿を見た。
エナガ ... 2/25 吉沢。3組のペアに出逢った。そろそろ巣作りに入りますね。
ウソ ... 3/1 吉沢。2羽。声は何回か聞かれていたが、姿を見たのはこの冬初めて。
ソウシチョウ ... 3/1 吉沢。1羽が地上で採餌。半分に割れて中身が露出したドングリが落ちていた。
カワウ ... 3/1 吉沢の池。1羽が水面から飛び立つ。上空を飛ぶ姿はよく見るが、池では初記録。
狩猟期も終わり、犬の声も聞こえず、落ち着いて観察できるようになりました。花も咲き始め、鳥見にはよい季節です。

【お知らせ】

○ 定例カウント調査

吉沢・松岩寺 & 土屋・遠藤原 2003年4月5日(土)

生沢・鷹取山 2003年4月12日(土)

午前6時に高麗ハイツ隣の駐車場に集合。12時頃に集合場所に戻ります。雨天中止。

特に持ち物は必要ありません。

集合時間が変わります。今までより1時間早くなりますので、参加される方は御注意ください。

連絡先: 岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

次回の定例探鳥会は2003年4月13日(日)です。午前7時30分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第193号/3月号 発行所:こまたん

斎藤 常實 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス <http://www2u.biglobe.ne.jp/~komatan/>

日本野鳥の会神奈川支部ホームページ <http://www.mmjp.or.jp/wbsj-k/>